

那賀川水系河川整備計画（那賀川流域住民の意見を聴く会②）阿南市第一会場
議 事 要 旨

日 時：平成19年3月10日（土）13：30～17：05
場 所：阿南市ひまわり会館 2F ふれあいホール
参 加 者：22名

議事要旨： 以下のとおり

【住民Aさん】

- ◇加茂谷川の整備についてはどのようになっているか。
- ◇加茂町と深瀬を結ぶ中央橋（潜水橋）について、フォーラム2030で提言したとおり、責任を持って河川整備計画に入れていただいて、抜水橋に架け替えて欲しい。
- ◇堆砂対策については、川を知っている人は排砂バイパスが良いと言っている。もう一度認識を深めて排砂バイパスの計画に取り組んで欲しい。
- ◇現在掘削した土砂の運搬をダンプカーで行っているが、危険でほこりもひどい。将来も、この手法でやるのはどうかなと思う。

【事務局】

- ◇加茂箇所の堤防については、【修正素案】附図10ページの図に堤防の造り方を示している。加茂谷川の支川改修については、樋門を造るのか、本川と同じ高さの堤防を山の方まで造る（バック堤）のかはまだ決めていない。徳島県や地域の方々と協議して進めていきたい。
- ◇深瀬箇所の堤防整備事業では中央橋をそのまま存置する計画となっており、橋の架け替えとなると、阿南市との協議が必要となる。今のところ我々で架け替えの計画はなく、治水上も問題はないと考えている。問題があれば、当然架け替えの計画になる。

【事務局】

- ◇排砂バイパストンネルの事例としては、和歌山県の新宮川水系旭ダムに関西電力管理のものがあるが、トンネル内のコンクリートが摩耗し、随時補修していると聞いている。もう一つは天竜川上流の支川にある美和ダムで昨年完成した。しかし、まだ洪水の事例が少ない。長安口ダムに造った場合、トンネルの距離が長くなることや補修管理等の課題もあるので、今後調査・研究していきたい。

【住民Bさん】

- ◇排砂バイパス、潜水橋の除去、加茂谷川の水の処理について、もう少し踏み込んだ答えがいただきたい。排砂バイパスについては、調査・研究するという一言を入れていただきたい。三峰川の美和ダム排砂バイパスのパンフレットを配布するので見て欲しい。（ホームページの中からの一枚を配布）
- ◇加茂谷川の流域面積は、15km²程度なので、時間100mm程度の雨で300m³/sの水流出がある。この水をポンプではとても処理できない。また、バック堤を考えていると思うがそれも難しい。合流点から1.3km下流の地点に直径5m程度の排水バイパスを造り、本流へ流せばポンプの必要もなく費用もわずかである。
- ◇潜水橋の件については、管理は阿南市であるが、県と国も一緒になって考えて欲しい。

中央橋によるせき上げが60～70cmにも及ぶということはないと思うが、若干のせき上げでも大きな被害があると思うので、できれば除去して抜水橋に架け替えて欲しい。

【事務局】

- ◇無堤地区対策として、現在深瀬地区に着手しているが、それに続いて加茂地区への着手を予定している。加茂谷川の整備については、県と国で調整して、調査・研究をしていかねばならないと思っている。また深瀬地区がある程度進捗した段階で加茂地区のみなさまにも具体的な話をさせていただきたい。
- ◇フォーラム2030で中央橋(潜水橋)の架け替えが提言されていることは承知している。潜水橋が洪水時に流下能力の阻害要因になっているとは思っていない。潜水橋に関しては、少し水が増えれば通行に不便をきたすことは承知している。
- ◇現時点で、那賀川河川事務所にはまだ長安口ダムに排砂バイパスを造る技術力はない。排砂バイパスについては、調査・研究を怠りなくやっていきたい。長安口ダム改造事業のメニューに排砂バイパスは入っていない。現在は、緊急的な対策として貯水池への土砂の流入を少しでも減らす計画を進めている。
- ◇美和ダムでは、砂、砂利、石は上流の堰で止め、土に近い土砂だけを排砂する計画である。美和ダムの下流には、小渋ダムなどがあるので、バイパスしても次のダムに堆砂してしまう。これからも調査・研究をしていくので、今後参考になる情報があればお寄せいただきたい。

【住民Cさん】

- ◇今月は区画漁場権の申請の月になっている。内水面で4カ所の漁場(出島川)があるが、現在死滅の状態となっている。漁業権を使用しないと県に取り上げられて権利が消滅する。内水面漁場権であるスジアオノリなどが色々な原因でとれなくなり休業している。休業という申請をすると、漁業権が取り上げられる恐れがある。さぼって休んでいるのではなく、色々な原因で生産物がなくなってしまったことによるものである。生産物がなくても申請が可能な方法をとりたいが、国土交通省の見解をお伺いしたい。
- ◇5年程前、農水省が中島漁港入口の浚渫工事をしていたが、国土交通省の管理区域まできて工事が中止されたと聞いている。海が荒い場所なので年間2～3隻が座礁している。検討をお願いしたい。
- ◇環境整備ということで植林の話があったが、漁業組合の青年部も毎年50本程を港の周辺に植樹している。今後、広範囲で自然環境保全に取り組んでいきたいので、那賀川流域で植樹活動をボランティア団体に参加できる方法があれば教えていただきたい。
- ◇昭和60年頃は辰巳地域の工場の水の使用量は許可量の53%位だったと記憶している。濁水が3年に1回位発生していたので、言い過ぎかも知れないが計算方法が間違っていたのではないかとも思う。いま、那賀川の水の総量に対する辰巳地域の工場の水の使用量はどのくらいか。また、那賀川の水は環境基準でどれくらいの値となっているのか知りたい。
- ◇那賀川の水の量はどれくらいあり、辰巳地区ではどれくらい使っており、将来的にはどれくらい必要なのかを常識的な範囲で持っていて欲しい。

【事務局】

- ◇中島漁港の浚渫については、県の港湾課が管理をしているので、持ち帰り港湾課の方

から後日回答させていただきたい。

【事務局】

- ◇出島川河口はおそらく県の港湾区域で、国土交通省の河川部局の管理ではないと思うが確認させていただく。出島川の方は県の河川区間である。
- ◇漁協の皆さんが山に木を植えて下さるとするのは非常にありがたい。私たちもアフターフォーラムの取り組みに参加して、源流碑を造り、山の清掃なども行っているので、漁協の皆さんにも声かけをして参加していただきたいと思う。
- ◇那賀川全体の水の量の内、辰巳の工業団地がどのくらい使っているかについては、後日説明させていただきたい。

【事務局】

- ◇水質を判断するにはBODという値を使用する。那賀川橋地点では近年非常にいい状態で、四国でもトップレベル（昨年は0.5mg/L程度）の水質である。

【住民Dさん】

- ◇50年程前から、那賀川の汽水域と河口域で漁業を営んできた。昭和40年代まではアオサノリの生産が全国一の年もあったが、昭和40代後半の大洪水の後、生活の場を外洋に移して、アサクサノリやワカメの養殖をしている。近年色落ち現象が進み、10年位前からは壊滅状態の年もある。河川の水をもっと漁業用として確保して欲しい。河川維持用水を確保するという約束はしていただいていたが、平成17年の渇水時にはそれさえも削減された。最低限の河川維持用水は絶対に確保して欲しい。毎年2月の2番網（1番網は11月）から色落ちが始まる。農業用水も大事だと思うが、桑野川の一の堰では、2月1日から堰を閉めて水を止める年もある。米の早期栽培に水を使い、河口から2km位は栄養不足となっている。各産業間でバランスがとれた河川行政を進めて欲しい。

【事務局】

- ◇河川維持用水としてイコス堰では6m³/sを確保し、毎日管理している。平成17年の渇水時に長安口ダムが空になった時以外は、河川維持用水を確保するという考え方である。

【住民Eさん】

- ◇旭ダム、美和ダムの排砂バイパスについて、技術的な問題、完成までの年数、かかった事業費、住民の皆さんと協議した時間、排砂バイパスをどのように使用をしてどのように土砂が出ているのか、などについて知りたい。長安口ダムの排砂バイパスが技術的に難しいと言うが、どこが難しいのか説明していただきたい。

【事務局】

- ◇旭ダムと美和ダムの排砂バイパスについては、まだ詳しく調べてないので、細かくはわからない。これから検討・研究していくということで、色々なことを調べていきたいと思っている。長安口ダムでの排砂バイパスが困難な理由としては、上流の土砂の量が多く、大きな粒径の石もあり、それがどう流れ出てくるかつかんでいない。また、分流の方式については、模型実験などを行いながら研究しなければならないからであ

る。堤防を造るようにはいかない。他の事例も参考にしながら上部専門機関とも相談して検討していきたい。

【住民Fさん】

◇修正素案には意見もかなり盛り込まれており、満足できる内容である。学識者会議においても概ねの意見が盛り込まれていると新聞記事で見た。この修正素案をまとめていただき、整備計画案の作成に早く取り組んでもらいたい。この件についてここにおられる方の意見を伺いたい。

【住民Eさん】

◇第1回目で「長安口ダムはあまり必要としない。」という意見を聞いた。「本当にダムはいらないのか？」ということに関する意見を住民に聴いて欲しい。整備計画は30年の計画なので、早急にまとめて失敗しないためにも、まだまだ検討していかなければならない。

【住民Aさん】

◇大きな計画であり、2回くらいの会合で素案を計画案に変えるのは時期尚早と思う。あと1～2回意見を聴く会をもって進めた方がいいと思う。

【住民Gさん】

◇お話を聴いていると、素案の意見でなく、整備計画に関する意見が多いと思う。素案の時に整備計画の議論になるのはおかしい。

【住民Bさん】

◇ダムは必要であると思う。那賀川の場合、一番少ない時の下流地点流量は7m³/sである。工業用水だけで最低4m³/s必要で、農業用水として最大186万m³/日必要であることからその水を補給するためにダムは必要である。

◇堆砂をダンプで運搬処理するのは、道路関係上不可能と思う。

◇那賀川の内水面漁業の被害の原因は濁りであり、排砂バイパスをつけることで、砂バラスが豊富な自然の那賀川を取り戻すことによって、ノリの養殖もでき、アユも遡上する川になる。長安口ダムには下流にダムが無いので（川口ダムは可動式で土砂は溜まらない）土砂は下流へ流れて、下流の水がきれいになる。

【住民Hさん】

◇治山と治水は切り離せない。フォーラム2030では、森林整備は農水省の問題と言われていたが、今回森林のことを河川整備計画に入れていただきうれしく思う。治水と利水と環境問題の根本は治山であるという考えに立って進めていただいていることはうれしい。

◇排砂バイパスが、議論の上ののったことはうれしい。新しいダムが造れなくなった現在、土砂の流入を止めるには排砂バイパス以外方法がない。環境にやさしい面から考えても、流域の皆さんから一番理解が得られる方法だと思う。排砂バイパスという言葉自体を知らない人が多いと思うので、那賀川倶楽部などを通じた広報活動で知らせていただきたい。

【事務局】

◇年月とともに、科学や対処の仕方が進歩している。そういう中で排砂バイパスや濁りの対策についても研究していく。4月1日から長安口ダムが直轄化されるが、いきなり状況が変わる訳ではないので、ひとつひとつ対策を積み重ねていきたい。特に、那賀川倶楽部などを利用しながら知っていただく努力もしていきたい。

【住民Iさん】

◇長安口ダム不要論には反対。時間をかけてもう少しきめ細かい説明をした方がいいということには賛成。第1回目の説明会の時に学識者、市町長、流域住民、国、県を交えた会を持って欲しいとの意見を言ったがどうなったか。第1回目の那賀会場での説明会の時には四国電力の関係者を参加させたらどうか、という意見があったがどうなっているのか教えて欲しい。

◇説明が早すぎるし、説明画面の字が小さい。修正素案の資料は市町村役場や出張所で閲覧できるということであるが、こういった冊子をそこへ配備して、希望者はもらえるようにPRして欲しい。

【事務局】

◇学識者、市町長、流域住民が一堂に集まって意見をかわす場を持つ件については、それぞれの場所で聴いてきたことを素案の中で細かく反映し、説明もしてきており、色々やり方はあると思うが、この進め方でこれからも進めていきたいと思っている。

◇四国電力側の出席ということであるが、徳島県と国土交通省がつくる整備計画であるので四国電力ではなく、徳島県と国土交通省が出て行って説明するとお話をさせていただいた。

◇色々なところに修正素案の配布用資料を置くことについては、閲覧箇所における配置から取り組みたい。

【住民Gさん】

◇素人ながら他の近畿や九州等の色々な計画書と比べて良くできていると思うが、これを形にすることが大事である。環境の面からも、美しいものをつくっていただきたい。

◇那賀川の基本方針の治水安全度は1/100だが、150~200年に一度の災害が20~30年以内にくるかもしれないので、被害の軽減策も考慮していただければと思う。

◇岡川の水質であるが、各家庭で浄化槽の設置をしているのは20%台ということを知った。吉野川源水を守る会で、早明浦ダムのダムサイトに植林に行った時、嶺北地区では浄化槽では雑排水が処理できないので公共下水道にしていると聞き、山間部でもやる気があればできると思った。

◇水と環境をつかさどるセクション（機関）が必要だと思う。

◇吉野川からの導水についても取り入れるという構想を含めていただけたらと思う。

◇森林については境界線が大事で、林野庁もGPS測定での測量を最優先している。

◇排砂バイパスについては、排砂ゲートも含めあらゆる技術を検討して欲しい。

【住民Bさん】

◇修正素案9ページ的那賀川における過去の洪水状況の中で、昭和46年の台風23号の流量と被害状況の数字がおかしいので訂正して欲しい。昭和46年の鶯敷水害裁判で被害認定の時の数字が少なかった、流量も少なかった。床上浸水92戸、床下80戸、これは

旧の鷺敷町の水害だけで、加茂谷、吉井を入れれば数字が倍以上になる。

◇学識経験者、市町長、流域住民、国（県）の4者会議でとことん議論していただきたい。

【事務局】

◇数字は精査しているが、調べられる限りは調べていかなければならない。

【住民Cさん】

◇資料についての指摘であるが、たくさん勘違いされているところがある。どうしてこのようになったのかと思う。流域住民が関心がなさすぎたというところもある。写真についても年代が間違っているところがある。所在地が違っているところもある。

【事務局】

◇間違っているところについては、ご意見としていただきたい。無堤地区の解消とか、根本的にやらなくてはいけないことの意見を聴くことが会の目的、大筋で認めていただければこのまま進めていきたい。

【住民Eさん】

◇先程、「ダムは要らない」と言ったのではなく、ダム不要という意見もあると申し上げた。誤解されたのではないかと思うので、修正させていただきたい。

◇前回の説明会で、住民参加人数が少なく、会場を増やして欲しいという意見があったが会場数は変わっていない。もう少し増やして欲しい。

◇データで間違っているものがある。国、県、市町のデータはそれぞれ違うと思う。データの資料集めや出す内容についても、もう一回よく検討していただきたいと思う。

【事務局】

◇会場については、遠くて行けないという話も聞いた。前回、羽ノ浦で実施したので今回は那賀川町、同様に鷺敷から相生、上那賀から木頭となるべくたくさんの方が参加できるように会場を選定した。

◇データについては、ご意見BOXやハガキなどでいただきたい。

【住民Fさん】

◇修正素案については満足している。しかし、満足できない方もいるので、最終的に意見をどのように整備計画としてまとめるか方針を伺いたい。

【事務局】

◇昨年の意見を聴く会でたくさんの意見をいただき、修正させていただいている。今回2回目として4会場で流域住民の皆さんの意見を聴き、最後に市町長の意見を聴く予定である。意見を聴きながらタイミングを見て次のステップに進みたい。整備計画は実行していくことが大事で、皆さんの意見を聴き、修正しながら次に進むつもりである。

【事務局】

◇治水、利水両面の安全度の向上に向け、早くこの那賀川の河川整備を実施することが

大事と思う。環境面にも配慮して、よりよい那賀川を目指し早期に意見をまとめて進んでいきたい。

【住民Jさん】

◇無堤地区に居住しており、災害はいつくるかわからないので、計画を一刻も早く進めて欲しい。一番問題となっているところは十分検討していただくとして、急がなければならぬところは早く実行に移して欲しい。